



尊聞行知「聞くことを尊び、知るところを行う」
梅村清明書（第二代校主・初代梅村学園理事長）

2013.4.1【発行所：中京大学剣友会事務局】

名古屋市昭和区八事本町 101-2 ☎052-835-7692



（開会式風景中央右側）

います。

参加校 OB・OG 間の連携の基に豊田に結集できることは同じ釜の飯を食べ、毎日の生活を共に過ごした 4 年間の絆が強く結ばれていると感じてやみません。剣聖旗を期に全国に旅立って活躍する先輩達がこの豊田に集い合える機会を教え子とともに満喫いただければ剣友会としてこの上ない喜びです。

大会は中学校・高等学校の各チームが一同に会して熱戦を繰り広げました。高等学校女子の部優勝の守谷高等学校は 2 年連続優勝を果し、インターハイ 2 年連続優勝の偉業は剣聖旗でも発揮されました。団体戦の結果は以下のとおりです。

高等学校男子の部：優勝「麗澤瑞浪高等学校（岐阜）」、2 位「高山西高等学校（岐阜）」、3 位「愛工大名電高等学校（愛知）」・「奈良大付属高等学校（奈良）」。

高等学校女子の部：優勝「守谷高等学校（茨城）」、2 位「久御山高等学校（京都）」、3 位「名経大市邨高等学校（愛知）」・「麗澤瑞浪高等学校（岐阜）」。

中学校男子の部：優勝「上郡中学校（兵庫）」、2 位「東院剣友会（愛知）」、3 位「大和中学校（岐阜）」・「春日井中部中学校（愛知）」。

中学校女子の部：優勝「城部中学校（愛媛）」、2 位「上郡中学校（兵庫）」、3 位「気品礼節剣道教室（愛知）」・「鳴門第一中学校（徳島）」。

今回の大会は 2 年目を迎え無事成功内に幕が引かれました。本大会が実施できたのも実行委員の先輩方と部員を率いて参加頂いた剣友会 OB・OG との連携あつてのことです。

まさしく参加校を率いる OB・OG と実行委員が知恵を出し合い、これまでの経験に裏打ちされた実行力が

中高一貫教育・青少年剣道を通して育成 OB の情熱が成し遂げた剣聖旗



（大会開会式中央左側）

中京大学剣聖旗第 2 回全国選抜高等学校剣道大会ならびに第 1 回全国選抜中学校剣道大会が平成 25 年 2 月 11 日に豊田市スカイホールで開催されました。今年度の大会会場は昨年開催された中京大学豊田キャンパスからスカイホール豊田に移されました。開会式の写真からもご察知頂けると思いますが、フロアの両端まで選手で埋め尽くされています。今回の大会参加校は高等学校 80 校（男子 42 校、女子 38 校）、中学校 44 校（男子 25 校、女子 19 校）に至りました。昨年行われた第 1 回高等学校大会の参加校は 62 校（男子 32 校、女子 30 校）と比べますと有力校を有する九州地区の高等学校が九州大会への参加と重なったものの男女とも各 10 校の増加となりました。全国大会としての布石が着実に地盤を敷き詰めていると言えます。実行委員会委員の面々はうれしい悲鳴をあげて

大会のバックボーンとして剣友会を支えて頂いているおかげと感謝いたします。なお、実行委員会は今年度の反省と次年度の大会立案に向けて第1回実行委員会を開催し熱い議論を重ねています。

記念祝賀会 功績者表彰 (剣友会への功績・全国で活躍する先輩)



平成 25 年 2 月 11 日 (於：名鉄豊田ホテル) にて第 31 回剣友会総会が開催されました。役員会の議を経て提案された決算報告異議なく承認されました。

総会終了後に剣友会功績表彰並びに剣聖旗中学・高等学校選抜剣道大会祝賀会が開催されました。

来賓として今回都合により出席頂けなかった学校法人梅村学園中京大学理事の梅村清英様、並びに中京大学学長の北川薫様よりフラワースタンドが届けられました。剣友会のさらなる発展を期待する旨のメッセージが披露されました。剣友会長 (写真上) の挨拶に引続き、中京大学校友会本部長の片岡武司様より祝辞を頂きました (写真下)。



続いて、剣友会功績表彰がおこなわれました。今年度は次の 3 名の表彰がおこなわれました。

豊村東盛先輩 (昭和 47 年卒) が全日本剣道連盟より範士を授与され、その荣誉に際し記念品が贈呈されました。続いて平成 23 年・24 年インターハイで 2 連覇を成し遂げた守谷高校女子チーム (茨城) 監督の塚本浩一先輩 (昭和 58 年卒) にその功績を称え記念品が贈呈されました。また、昨年開催されました岐阜国体におきまして成年女子チームの大将として出場し、チーム優勝に貢献した荻田ひろ美先輩 (平成 3 年卒) に記念品が贈呈されました。

豊村東盛先輩に剣道範士授与

平成 24 年 5 月に豊村東盛先輩が全日本剣道連盟より剣道範士の称号を授与されました。中京大学剣友会員から今回で 4 人目となります。

生涯剣道を支える剣道の原点

豊村東盛



先般私の剣道範士授与祝いとして、立派な席にお招きいただき、また過分な記念品を頂戴するなど、中京大学剣友会のご芳情に感謝し、心より深く御礼申し上げます。

ご承知のことと存じ上げますが昨年 5 月に京都にて全日本剣道連盟より光荣にも範士の称号を頂きました。これも偏に長年に亘り多くの先生方・剣友のご指導、ご支援の賜物でございますが、私の言動の原点は中京大学剣道部で 4 年間厳しく鍛えて頂いたことに尽きると思っています。4 年間の稽古を顧みて、理屈はさておき軟弱な私にとりましては、限界に近い切り返し、打ち込み、掛かり稽古が中心であったかと思いません。したがって、私の考えは試合稽古も大事であるが体力の回復することが早い高校・大学の時期にどれだ

け「厳しい打ち込み・掛かり稽古」を遺ったか否かが将来の剣道を決すると言っても過言でないと思います。これは、剣道の本体と言いますか、根幹のところでは、そしてこれに理合やトレーニングを加えていけば「質の高い剣道」として成り立っていくものと思います。

ところで、剣道の目的は「人間形成」とありますが、少々剣道をやることで人間が変わるとは思えません。また、形成は完成ではなく、他の芸術や芸事と同様に終わりの無いことを意味しています。人は剣道に限らず物事を続けることによって様々な事を経験しながら成長し【場】における所作や振る舞いが形成されていくものと思います。この先、今まで以上の高齢化社会を迎えますが、終わりの無い剣道は「生涯剣道」高齢化社会に活力を与える手助けになるものと考えます。私の周りにはこの「生涯剣道」を实践されている先輩方がたくさんおられます。その殆どが多忙にも拘らず各分野で活躍されている方々です。言い換えれば、多忙な人ほど寸暇を見つけ稽古に励んでおられます。その活躍されている先輩方をみますと共通する点が何点かあります。主なものとして日常生活のバランスの良さと、何事に対しても旺盛な興味と向上心がある点です。バランスに関しては芥川龍之介が「中庸」と英国の「グッドセンス」は同じであると面白いことを言っています。過不足の無い、偏らない、固まらない変化し得るバランスは中庸（中心）をとる剣道と相通ずるものがあります。高齢で活躍されている先生方は、一概に心身のバランスが良いと言えるでしょう。我々は立派な先輩方を範とし「続ける」ことはもちろん、私も出来得れば歳をとるとともに「向上」する剣道を目指したいと念願しています。

最後になりますが、範士称号において苦勞されている先輩方が沢山おられます。私に今後できることは、これまで通り稽古を地道に重ね、生涯剣道を目指すことで子供達や剣道愛好家の皆さんに剣道の良き魅力を少しでも伝えていけたらと思っています。今日まで多くのすばらしい先生・先輩剣友に恵まれたことに感謝し、拙いお礼の言葉とさせていただきます。

会員の活躍

《全日本剣道連盟平成 24 年度剣道有功賞》
受賞 細田隼郎 先輩（昭和 37 年卒）

☆平成 24 年度に全国大会レベルの大会で活躍された先輩方は次の通りです（日付順）。

《第 10 回全日本選抜剣道八段優勝大会》

平成 24 年 4 月 15 日 名古屋市中村スポーツセンター

出場選手 豊村東盛 先輩（東京・昭和 47 年卒）

水田重則 先輩（茨城・昭和 47 年卒）

《剣道範士授与》

平成 24 年 5 月 3 日 京都市武道センター

豊村東盛 先輩（昭和 47 卒）

《第 34 回高齢者武道大会》

平成 24 年 6 月 4 日 日本武道館

剣道(55 歳～64 歳)の部

準優勝 合原 厚 先輩（昭和 44 年卒）

《第 4 回全日本都道府県対抗女子剣道大会》

平成 24 年 7 月 16 日 日本武道館

優勝 富田ちはり 先輩

((岐阜チーム大将・昭和 59 年卒)

《第 59 回全国高等学校剣道大会》

平成 24 年 8 月 6 日～9 日 新潟市東総合スポーツセンター 女子の部 優勝 茨城県立守谷高等学校

塚本浩一 先輩（監督・昭和 58 年卒）

《第 51 回全日本女子剣道選手権大会》

平成 24 年 9 月 2 日 兵庫県立武道館

出場選手 島村百重 先輩（東京・平成 6 年卒）

磯 帆波 先輩（三重・平成 21 年卒）

矢田直子 先輩（愛知・平成 22 年卒）

《第 58 回全日本東西対抗剣道大会》

平成 24 年 9 月 16 日 宮崎県武道館

西軍大将 俣木正喜 先輩（昭和 44 年卒）

《第 67 回国民体育大会剣道大会》

平成 24 年 9 月 30 日～10 月 2 日 関市総合体育館

優勝 荻田ひろ美 先輩（岐阜・大将・平成 3 年卒）

《第 60 回全日本剣道選手権大会》

平成 24 年 11 月 3 日 日本武道館

出場選手 小磯仁徳 先輩（茨城・平成 11 年卒）

佐藤範和 先輩（東京・平成 13 年卒）

《全日本学連剣友会剣道大会》

平成 25 年 3 月 17 日 東京スポーツ文化館

第 3 部 優勝 中京大学剣友会チーム：合原厚（昭和 44 年卒）・白石裕章（昭和 44 年卒）・森健志（昭和 55 年卒）

【新会員紹介】 今春 社会の一員として旅立ちました。心から活躍をお祈りします。

海野雄介 中原祥平 瀧淵竜太 安田広樹 笠原良平 長屋貴則 長谷川拓哉 伊藤真一郎 田中祐紀 黒崎隼矢 津島大晟 服部篤紀 中道誠司 松原知大 飯島涼太 平松加衣 中根未来 遠山翔子 柴田侑香 佐藤遥 (総勢 21 名予定)

平成 24 年度剣友会会計報告

特別会計収支

①30 周年記念功績表彰・剣聖旗発会記念祝賀会

①収入 項目・摘要	金額 (円)
祝賀会費等 (56 名)	835,000-
来賓祝儀 (3 名)	60,000-
剣友会補助	20,000-
①総収入	915,000-
②支出 項目・摘要	金額 (円)
記念品代 (賞状・手拭い・胴等)	454,190-
祝賀会飲食代	406,600-
アトラクション和太鼓	50,000-
消耗品費 (文具等)	6,044-
記念品発送代 (礼状)	20,040-
②総支出	936, 874-
収支決算 (①総収入-②総支出) :	-21,874 円

②剣聖旗大会等

①収入 項目・摘要	金額 (円)
広告掲載料(28 件)	400,000-
大会(62 校)・練成会(87 校)参加料等	535,000-
祝儀・寄付金(佐賀支部・17 件)	112,000-
① 総収入 :	1,047,000-
②支出 項目・摘要	金額 (円)
贈呈品 (優勝旗等)	178,080-
会場設営費 (横断幕)	47,250-
パンフレット	210,000-
宿泊費	72,000-
昼食代 (役員・審判・補助等)	219,600-
消耗品 (会場設営テープ等)	210,487-
② 総 支 出	937,417-
③ 収支決算 (①総収入-②総支出) :	109,583 円

一般会計収支

(平成 24 年 1 月 1 日～同年 12 月 31 日)

①収入 摘要*	金額 (円)
1. 前年度繰越金 (平成 23 年度)	528,339
2. 年会費等	1,040,000
3. 支部会費 (茨城・佐賀・北海道)	110,000
4. 年会費・入会金 (卒業生 9 名)	90,000
5. 雑収入 (剣聖旗残金・利息)	109,626
①収入合計	1,877,965
②支出 摘要*	金額 (円)
1. 会議費	
第 30 回総会会議費等	20,000
2. 事業費	
剣友会記念発足 30 周年記念事業	530,274
剣道部大会等援助費	400,000
全国高校選抜大会援助	25,000
学連OB剣友大会協賛金・登録費	25,000
4. 通信費	242,190
5. 事務費	118,247
6. 事務局費	60,000
②支出合計	1,420,711
収支計 (①収入合計-②支出合計) :	457,254 円(25 年度繰越)

年会費の振込のお願い

平成 25 年度会費 (5000 円) の振込等お済ませでない方は納入頂けますようよろしくお願いいたします。

銀行名・支店名：三井住友銀行

支店名：八事支店(店番号：733)

口座番号：普通 0165226

口座名義人：中京大学剣友会事務局

(連絡先：事務局 (鷺見) : Eメール sumich@lets.chukyo-u.ac.jp: ☎ 052-835-7692(直通), 090-9912-4135(携帯))

<お知らせ>

中京大学剣聖旗第 3 回全国選抜高等学校・第 2 回中学校剣道大会が平成 26 年 2 月 11 日(火)【スカイホール豊田】で開催されます。大会要項等の詳細は本年 9 月以降を予定しています。奮ってご参加いただけますようお願い申し上げます。

